

【事前質問】

項目	内容	回答
タバコカスミカメ	タバコカスミカメの死亡は容易にできるものですか？植物の枯死とともに、自然と死んでしまうのでしょうか。	植物が枯死すればタバコカスミカメは死んでしまいます。タバコカスミカメの成虫の場合、適切な餌があると25℃条件下で30~40日間生存しますが、餌がない（水だけの）状態だと一週間程度で死んでしまいます。そのため、植物が枯死すれば比較的短期間で死んでしまうと考えて問題ありません。また、植物がなければ産卵場所もありませんので、次世代も残りません。
タバコカスミカメ	化学薬剤削減という観点から期待される技術と考えます。施設の閉鎖環境から出てしまった場合の生態系への影響はありますか。	シンポジウムで触れましたとおり、タバコカスミカメはもともと日本（本州以南）に分布しており、とくに西南暖地では容易に採集できます。冷涼な地域ではなかなか採集できませんが、これは、タバコカスミカメが寒さに弱いためと考えられます。今回発売された「バコトップ」は日本在来のタバコカスミカメ＝もともと野外に生息しているものを製剤化していますので、万一、施設から出てしまったとしても生態系への影響はないと考えています。また、ヨーロッパでは2000年代初頭から本種が製剤化され、広く利用されていますが、生態系へ悪影響を与えたという話はありません。
タバコカスミカメ	タバコカスミカメがエサ不足により害虫化した際の宿主範囲。圃場から逃げた際のリスク。北海道での定着面など使用可能性はどうか。	上記に同じ
タバコカスミカメ	タバコカスミカメは、西日本において採取できるのは、8月中旬くらいからであるが、冬の間どういう形態で越冬しているのかを知りたい。	野外でのタバコカスミカメの生態にはまだまだ未解明な点が多々あります。越冬形態もその一つですが、徐々に知見が得られており、近い将来発表されると思います。

タバコカスミカメ	タバコカスミカメに向かない作物(害虫化する等)を知りたい。	タバコカスミカメの害がしやすい品目はミニトマトであり、ミニトマトで利用する際は十分な注意が必要です。利用する場合は、あらかじめ、増えすぎた（害虫化した）場合の対策を準備しておく必要があります。なお、現時点では「バコトップ」はミニトマトで登録が取れていません（登録拡大申請中）ので使用できません。
タバコカスミカメ	果実への食害程度や防除コスト、静岡県での施設外での定着度合について情報をいただくとありがたいです	果実への食害は通常問題になりませんが、害虫が増えた後、後追いで増えたカスミカメが害虫を食べつくした後は特に起こりやすく、階級を下げるほどの食害痕が認められる果実もできます。防除コストはここでは細かく示しませんが、長段どりの作型で1回放飼ならコストに見合います。静岡県では土着個体も認められることから、逃げ出した場合は施設外への定着も高い確率で起こると思います。
タバコカスミカメ	生態について詳しくお聞きしたいです。	講演で紹介済み
タバコカスミカメ	タバコカスミカメの発育ゼロ点と気温の違いによる増殖速度、捕食量の違い、また、寄主作物への影響などにつきて、確認していただきたいです。	講演で紹介済み
タバコカスミカメ	キュウリのハウス内は湿度が非常に高くなりますが、タバコカスミカメの活動への影響するのでしょうか。	講演で紹介済み
タバコカスミカメ	2000年代まではどちらかという害虫として知られていたタバコカスミカメのこれまでの技術開発の経緯について知りたい	講演で紹介済み
タバコカスミカメ	生物農薬の開発経緯などについて伺いたいと思います	講演で紹介済み
タバコカスミカメ	トマト、キュウリの周年栽培における害虫防除の一助にできれば助かります。害虫として作物へ被害を及ぼす可能性や被害程度についてもお聞きしたいです。	講演で紹介済み
タバコカスミカメ	タバコカスミカメを集落単位で活用していきたいと考えていますが、このカスミカメが他の作物に対して直接・間接的に害を及ぼす知見はあるのでしょうか？	講演で紹介済み

タバコカスミカメ	当管内では主にいちごで天敵資材の活用が始まっています。費用対効果や導入した生産者の感想・工夫など聞けると幸いです。	講演で紹介済み
タバコカスミカメ	タバコカスミカメなどの天敵導入を検討する農家が増えてきました。今回のシンポジウムでタバコカスミカメについて正しい知識を学び、適切に普及していきたいと考えております。これまでの導入事例で、失敗談などありましたら、教えていただきたいです。	講演で紹介済み
タバコカスミカメ	防除の効果についてお聞かせいただけたら幸いです	講演で紹介済み
タバコカスミカメ	若干の食害もあったので導入を見送っていたタバコカスミカメが現在はどうのように利用されているのかを知りたいです。	講演で紹介済み
タバコカスミカメ	これまでのほ場レベルでの試験事例（成功と失敗）を中心に使用者の感想も多く聞かせていただければと思います。	講演で紹介済み
タバコカスミカメ	今回新規登録されたタバコカスミカメの利用にはどの程度労力がかかるのか、被害を抑えられるのか、慣行と比べ薬剤使用の削減につながるか大変興味深いです。また、天敵利用の今後の展望についても、どんなものの利用が検討されているのか大変興味があります。	講演で紹介済み
タバコカスミカメ	タバコカスミカメの実際の導入事例を是非聴講したい。	講演で紹介済み
製品・品質管理	バコトップの販売価格と放飼方法を知りたいです。	講演で紹介済み
農薬登録	登録農薬を増殖（勝手に増える）して使用することについて、農薬取締法上の考え方はどのように考えるのか。	意図的に増やして配布したり他の圃場・施設へ移すと農薬取締法に抵触しますが、放飼したものがそこで増える分には問題ありません。
農薬登録	バコトップの登録は「トマト」とのことですが、ミニトマトでは使用できないということでしょうか。	講演で紹介しましたように、現在登録拡大の申請中です。現時点では使用できません。
農薬登録	今後イチゴへの適用拡大の可能性はありますか？	講演で紹介済み
農薬登録	現在、適用作物はキュウリとトマトということですが、ナスなどに登録を拡大していく展望はあるのでしょうか？	講演で紹介済み

農薬登録	ミニトマト栽培のコナジラミ対策として導入の可能性について聞かせていただきたい。	講演で紹介済み
農薬登録	今後、適用作物について登録拡大の予定があれば教えていただければ幸いです。	講演で紹介済み
農薬登録	今後の他作物での登録拡大予定についてお教えてください。	講演で紹介済み
農薬登録	花き類での利用事例や、他作物への登録拡大予定などがあるか聞きたいです。	講演で紹介済み
使用方法	<p>熊本県にてタバコカスミカメを利用した防除について普及・検討しております。トマト上でのタバコカスミカメ増えすぎ対策や、生産者目線でのカスミカメ増えすぎの目安など現地事例を教えてください。</p> <p>また、ミニトマトや中玉トマトに対しての利用について、利用事例はあるのか、利用するための技術的課題など、併せてお伺いしたいです。</p> <p>よろしくお願い致します。</p>	<p>総合討論で議論した通り、増えすぎの目安として一律のルールを作るのは極めて難しいと考えています。一方で、日本さんの講演で紹介した通り、成長点のタバコカスミカメの数を把握することでトマト全体でのタバコカスミカメの生息状況を推定することは可能ですので、成長点での生息数が目安になると考えています。ハイワイヤー栽培では、誘引作業などの際に大まかな感触で頭数を確認する程度でも把握は可能です。ミニトマト、中玉トマトでの利用に関しましては、少なくとも福岡県の現地実証で中玉トマト（品種：フルティカ）を扱っていますが、大玉と変わらない感覚です。静岡県の研究所内においてミニトマト（品種：千果）で試験を行なったところ、コナジラミに対する防除効果はありましたが、コナジラミの増殖の後追いで増えたカスミカメが果実を食害し、作の最後の調査では、食害痕のある果実が収穫果の80%以上になりました。コナジラミを増やさないように管理するとともに、カスミカメが増えすぎた際の準備をしておく必要があります。</p>
使用方法	<p>小型の温室と大型の温室で温度管理の方針が異なってくると思われれます。それによる各地の状況などがわかれば知りたく思います。</p>	<p>ハウスの大小に加え、作型、品種、産地の方針によっても温度管理の方針が異なるため、すべてを網羅するのは難しい状況です。シンポジウムで紹介しましたように、基本的な原理（増えやすい温度、増えなくなる温度など）は共通していますので、それを元にその後は産地ごとに試行錯誤する必要があります。</p>

使用方法	<p>タバコカスミカメをハウストマトに放飼する際、下を白マルチで被覆してあると、光が乱反射してカスミカメがトマト植物体に定着しづらくなる可能性があるとのこと聞きました。実際に一度の放飼での定着があまり良くなく、追加放飼を行うことになりました。他の県や圃場でも同様な傾向がこれまでに見られたことはありますか？</p>	<p>傍証ですが、これまでの事例では、白マルチや反射シートを利用すると、タバコカスミカメの定着に多少の影響はあるものの、定着してしまえば普通に増殖するようです。</p>
使用方法	<p>可能であれば、カスミカメのアスパラガスでの導入のポイントをご教示いただきたい。</p>	<p>アスパラガスでは定着が悪く、まだ成功事例を聞いたことがありません。タバコカスミカメが定着しやすい作物とそうでない作物がある程度分かれているようです。</p>
使用方法	<p>温存植物としてのクレオメを育てておりますが、このクレオメがどうしても、ハイマダラメイガにやられ困っております。タバコカスミカメを呼び寄せるため、または温存できるように育てるための方法をの事例をお教えてくださいませ。</p>	<p>他で示された同様の質問での回答を参照下さい</p>
使用方法	<p>①土着のタバコカスミカメを効率的に捕まえるにはどうしたら良いか？ 今年、愛知県（北名古屋市、安城市、豊橋市）で露地でクレオメを栽培し捕獲を試みたが上手く捕まえることが出来なかった。</p> <p>②エサ紐(ブラインシュリンプをまぶした紐)の紹介があったが、市販のブラインシュリンプを作物の葉状に撒いた場合でも同様の効果が得られるか？同様の効果が選べる場合、エサ紐を用いる利点があれば教えてください。</p> <p>③農薬登録の拡大について、現在どのような作物で試験をし、今度どのような作物での拡大を予定しているか？ また野菜類登録は検討しているか？</p>	<p>他で示された同様の質問での回答を参照下さい</p>

使用方法	作物に食害を与える密度、その目安となるポイントをご教示頂きたいと考えております。また過密になった際の対策もお願い致します。	講演で紹介済み
使用方法	トマトに対してタバコカスミカメを上手く活用してコナジラミ防除につなげる方法 また、タバコカスミカメはトマトに対して加害しないか（果実や植物体に対して）加害するのであれば、どのような被害がでるのか、どの程度の密度までであれば、タバコカスミカメは加害しないかを知りたいです。	講演で紹介済み
使用方法	タバコカスミカメによる食害（吸汁）を抑えるにはどうするのが効果的でしょうか。	講演で紹介済み
使用方法	増えすぎると被害が出ると聞きました。頭数をうまく管理する方法を教えてください。	講演で紹介済み
使用方法	タバコカスミカメの放飼に適切な時期、回数と各種作物に対する加害程度（頻度）について情報を得たいと思います。	講演で紹介済み
使用方法	防除対象害虫が少ない場合果菜類の果実を加害する恐れはないでしょうか。	講演で紹介済み
使用方法	タバコカスミカメの導入試験を行ってきました。コナジラミの防除には有効と思いますが、タバコカスミカメが増えすぎると、食害を起こすので、頭数の制御には課題があります。	講演で紹介済み
使用方法	導入して食害があった場合、どの程度まで生育に影響がないでしょうか	講演で紹介済み
使用方法	タバコカスミカメを生産現場に導入する際に、薬害を生じさせないよう適切な放飼密度など、上手な使用方法に関心があります。当日のセミナーにおいて、導入事例などを参考にさせていただきたいと思います。	講演で紹介済み

使用方法	タバコカスミでは、トマトに対する加害が起きる場合がありますが、普及において、そこをどう説明していくのですか？	講演で紹介済み
使用方法	夏秋トマト栽培でタバコカスミカメを高密度にしない管理法が必要ですが、ある程度までは増やさないと個体群が維持できません。その変異点の温度条件などを明らかにする必要があります。	講演で紹介済み
使用方法	中玉トマト栽培におけるタバコカスミカメの導入について、基本的なところから知りたいです。メリット、デメリットについてもお聞きしたいです。	講演で紹介済み
使用方法	施設栽培での、カスミカメ温存に必要な最低温度と最適温度 追加放飼を検討すべきカスミカメの個体密度と、その密度の判断方法	講演で紹介済み
使用方法	施設栽培の場合、タバコカスミカメはいつの期間（月）ならば放飼可能か。夏の施設の気温でも問題ないか。	講演で紹介済み
使用方法	現在トマト農場で試験的にタバコカスミカメを導入して頂いています。当社ではカスミカメによるものと思われる実への加害が作の終盤になるにつれて頻繁に発生し、個体数を抑えるために農薬散布を行っています。そこで、花や幼果に対して加害した場合どのような症状になるのか、実への加害はどのような条件で起こるかなどカスミカメによる加害と農薬の効果について詳しく伺いたいです。	講演で紹介済み
使用方法	8月定植の冬春トマト栽培における効果・効率の高い使用方法について	講演で紹介済み
使用方法	タバコカスミカメ剤の使用についてですが、天敵温存植物を併用して効果を高める方が望ましいのでしょうか。それとも、定期的な散布による防除が望ましいのでしょうか。	講演で紹介済み
使用方法	天敵用餌ひもを使用した場合どれくらい定着率が上がるのか	講演で紹介済み

使用方法	放飼方法について聞きたい	講演で紹介済み
使用方法	タバコカスミカメの上手な使い方、失敗しないためには、何に注意すべきかをお聞かせください。	講演で紹介済み
使用方法	天敵の使い方	講演で紹介済み
使用方法	天敵タバコカスミカメはコナジラミなどの害虫を捕食するが、植物体も吸汁してしまうと聞いたことがある。できるだけ吸汁を抑えてコナジラミを捕食させるように誘導する手段はあるのか。	講演で紹介済み
使用方法	カスミカメの効果に期待しています。使用方法の詳細について知りたいです。	講演で紹介済み
使用方法	ミニトマトで使用したら、花数が減ると聞いたのですが、当日説明宜しくをお願いします。	講演で紹介済み
使用方法	キュウリで活用している事例があればご紹介ください。	講演で紹介済み
使用方法	製剤の効率的放飼方法について	講演で紹介済み
IPM	IPMは、総合的病害虫管理だと思いますが、一緒に使える農薬についても触れて頂きたいと思います。	講演で紹介済み
IPM	他の天敵昆虫製剤や化学農薬と組み合わせて使う方法を知りたいです。	講演で紹介済み
IPM	タバコカスミカメと他の防除技術との併用について、ぜひお聞かせいただければと思います。	講演で紹介済み
IPM	タバコカスミカメによるトマト黄化葉巻病の抑制効果が報告されています（土田ら, 2017）。促成栽培などを想定し、現地レベルで黄化葉巻病を抑制するためのタバコカスミカメの利用法や組み合わせる技術がどの程度わかっているのでしょうか。	講演で紹介済み
経営	導入コストと放飼の見極めがモヤモヤしてます。	講演で紹介済み
経営	費用に対する抑制効果について。	講演で紹介済み

【Q&A未回答・アンケートなど】

タバコカスミカメ	タバコカスミカメに対して、気門封鎖剤の効果が少ないのは増殖速度に対して、ということでしょうか。そもそも、気門が封鎖されにくいということでしょうか	実験等で確認したわけではありませが、体のサイズが大きいことが関係していると思います（気門が封鎖されにくい）。
タバコカスミカメ	かんきつの樹上観察ではタバコカスミカメを意識したことはないですが、樹木上での活動はあまりないもののでしょうか？	世界の情報も含めて詳しく調べたわけではありませんが、カンキツでのタバコカスミカメの報告はありません。植物との相性があるのだと思います。
タバコカスミカメ	花き類に導入した際は、食害等の被害は発生するのでしょうか？	花きへの導入事例は確認できていません。
タバコカスミカメ	コナジラミ、アザミウマに効果が認められておりますが他に捕食効果が認められそうな害虫はありますか？	シンポジウムで紹介しました通り、ヨーロッパではタバコカスミカメがトマトキバガの防除にも利用されています。トマトキバガに限らず、様々な蛾類に対してタバコカスミカメによる捕食が認められています。海外では、タバコカスミカメがアブラムシ類やハダニ類を捕食すると謳われていますが、少なくとも日本国内ではこうした害虫に対する効果は確認されていません。オオタバコガなどについても、今後検証する必要があります。
タバコカスミカメ	きゅうりでのタバコカスミカメによる加害はありましたか？	キュウリ果実の肩部分に食害が発生する場合があります。
タバコカスミカメ	福岡県の事例でクレオメの成長点数の推移とタバコカスミカメの数の推移と関連性はありますか。	クレオメの成長点が多くなるほど、タバコカスミカメの株全体の推定総個体数は増加します。また、気温が上がってくると成長点での密度が急激に上昇するため、さらにタバコカスミカメの株全体の推定総個体数は増加します。
農薬登録	農薬登録の拡大について、現在どのような作物で試験をし、今度どのような作物での拡大を予定しているか？ また野菜類登録は検討しているか？	現在のところ、タバコカスミカメ剤は他の天敵製剤とは異なり、「野菜類」での登録はできません。作物ごとに適用拡大申請する必要があります。今後の適用拡大につきましては、皆様のご要望を受け検討していきたいと考えています。

<p>農薬登録</p>	<p>タバコカスミカメのパブリカへの適用は可能でしょうか？ またはパブリカへの適用の予定はありますか？</p>	<p>今回紹介した「バコトップ」は、キュウリとトマトを対象に農薬登録していますので、使用対象はキュウリとトマトに限られます。それら以外の農作物で使用すると、農薬取締法に抵触しますので、ご注意下さい。土着のタバコカスミカメであれば、パブリカでも利用できます（行政上は、同じ都道府県内で採集された天敵を「土着天敵」としています）。高知県では、パブリカの栽培軒数自体が少ないのですが、促成栽培で1軒タバコカスミカメを導入されています。スワルスキーカブリダニとの併用で、ハウス内に植えているクレオメで増殖させながらタバコカスミカメを活用しています。虫数調査はしていないとのことなので具体的な効果をお示ししにくいのですが、概ね上手くいっているとのこと。</p>
<p>使用方法</p>	<p>温存植物としてのクレオメを育てておりますが、このクレオメがどうしても、ハイマダラメイガにやられ困っております。タバコカスミカメを呼び寄せるため、または温存できるように育てるための方法をの事例をお教えてくださいませ。</p>	<p>クレオメが属するフウチョウソウ科はアブラナ科と非常に近い関係にあるため、クレオメにはアブラナ科野菜類の害虫が発生することがあります。ハイマダラメイガもその一つです。天敵温存植物とは言え、無防備で栽培すると食害されてしまうことがありますので、育苗に際してはハウス内の空きスペースや遊休ハウス、ミニハウス等、防虫ネットで守られたスペースを利用する等の工夫が必要です。その上で、防虫ネットをしっかり展張したハウスへ移植すれば、ハイマダラノメイガを防げると思います。ハイマダラメイガのほかに、大型のカメムシ類も寄生しやすいのでご注意下さい。</p>
<p>使用方法</p>	<p>土着のタバコカスミカメを効率的に捕まえるにはどうしたら良いか？ 今年、愛知県（北名古屋市、安城市、豊橋市）で露地でクレオメを栽培し捕獲を試みたが、上手く捕まえることが出来なかった。</p>	<p>愛知県でも普通に発生するという報告（私信）がありますので、クレオメの数を増やす、ゴマも植えてみる等すれば、採集できると思います。市街地ですとなかなか誘引されないかもしれません。</p>
<p>使用方法</p>	<p>餌ひも(ブラインシュリンプをまぶした紐)の紹介があったが、市販のブラインシュリンプを作物の葉状に撒いた場合でも同様の効果が得られるか？同様の効果が選べる場合、エサ紐を用いる利点があれば教えて頂きたい。</p>	<p>市販のブラインシュリンプ卵で同様の効果を得られますが、天敵用餌ひもに比べると、劣化するのが早く、また、カビが生えやすいため、注意が必要です。有効期間も非常に短くなります。</p>

使用方法	防除するタイミングを教えてください。定期的に行っていますか。それとも密度をみながらでしょうか。	IPMの体系が構築されている状況でしたら、殺菌剤は定期的に、コナジラミ対策は必要に応じて、となると思います。
使用方法	露地のゴマでカスミカメを採取する場合、害虫防除のためのゴマへの農薬散布は行うのでしょうか？可能なら使用薬剤もお教えいただけたらと思います。	基本的に農薬散布はしません。そのため、タバコカスミカメを採集する場合は、害虫が混入しないようにするための工夫が必要です。吸虫管を使って選別するのが一般的ですが、そういった手間を省くためにLEDを使ったタバコカスミカメ補集装置も開発されています。なお、ゴマの収穫・出荷を考えておられる場合は、ゴマに登録のある農薬を適正に散布する必要がありますので、ご留意下さい。
使用方法	露地栽培や雨よけ栽培でタバコカスミカメを使った事例がありましたら教えてください。	露地栽培につきましては、西南暖地を中心に、露地ナス栽培で土着のタバコカスミカメの利用が普及しています。なお、「バコトップ」は露地では登録がありませんので、くれぐれも使用しないで下さい。雨よけ栽培については、今回のシンポジウムでご紹介したとおりです。
使用方法	露地での活用の検討は、されている事例はありますか。	バコトップの露地栽培での利用事例はございません。また、現在のところバコトップの露地栽培の作物への適用拡大の予定はございません。
使用方法	事例発表ありがとうございました。生産現場に対して普及させる上で、普及の制限要因として考えられることがあれば教えてください。いただければと思います。	天敵温存植物の育苗、天敵の費用負担、いつも使っている農薬をタバコカスミカメに影響のない農薬に変更する心理的負担感、生産者の不安や疑問に寄り添える機関があるかどうか、等が挙げられます。
使用方法	いじわるな質問です！カスミカメに影響の無い殺虫剤は限られているとのことですね。栽培初期には薬剤防除が効果的とのことですが、その薬剤の使用頻度が高まった場合に、抵抗性リスクが高まると心配です。今後、どのように対応しましょうか？一緒に考えていきましょう！	ありがとうございます。ご指摘の通りです。栽培初期には、きゅうりではスワルスキー、トマトではベミデタッチや気門封鎖剤など、抵抗性リスクが高まらない工夫をすることは、他の体系と同様に取り組むべきことだと思います。
使用方法	バーベナとクレオメの違い、どちらが使いやすいかなどを教えてくださいませんか？	タバコカスミカメがより早く増えるのはクレオメですが、クレオメは大きくなり過ぎてしまうため、配置する場所を選ぶのが難点です。バーベナはクレオメほどタバコカスミカメの増殖が早くありませんが、大きくなっても草高は30cm程度ですので、植栽場所を選ばず、トマトの畝上にも植栽できるのが特徴です。

<p>使用方法</p>	<p>タバコカスミカメによる食害が増えた際に農薬によって密度を下げるようにしていますが、マニュアルで×になっている薬剤が効かないことがあります。特に夏の気温が高い時期にネオニコチノイド以外の農薬を使用した際にその傾向が顕著です。展着剤との併用などタバコカスミカメに効果的な農薬の散布方法などがありますか。</p>	<p>これまでの報告でも、タバコカスミカメに悪影響のある農薬の効果が夏場に落ちてしまうことがあるようです。原因は不明ですが、夏場はタバコカスミカメの活動が活発であること、タバコカスミカメの発育が非常に早く、農薬が効かない（効きにくい）卵から出てきた次世代がすぐに増えることが原因と考えられます。また、トマトの場合、散布ムラや薬剤が当たりにくい場所（巻いた複葉のなか等）にタバコカスミカメが潜んでいることも原因と考えられます。</p>
<p>使用方法</p>	<p>ハウス周囲でのクレオメ等の温存植物栽培でコナジラムの飛び込み抑制等は考えられるでしょうか。</p>	<p>ハウス周囲に十分なスペースがあり、栽培管理できそうでしたら、天敵温存植物を植栽して飛び込みを抑制できるかもしれませんが、促成栽培の場合は天敵温存植物が枯死してしまうのが問題です。また、コナジラムはクレオメよりもトマトが好きだと思いますので、コナジラムを引きつける力は弱いかもしれません。</p>
<p>使用方法</p>	<p>(沖縄県石垣市)ナス栽培の前半は最初は殺虫剤を撒いているので防除ができるのですが、後半にコナカイガラムシが増えてしまうので、土着カスミカメを殺さないような対処法等があれば教えていただくと幸いです。</p>	<p>コナカイガラムシが増えてからはタバコカスミカメを殺さない対処法はないと考えています。定期的にラノー乳剤やボタニESなどを使用して増やさないこと、またコナカイガラムシの発生源となるであろう雑草対策の徹底しかないと考えているのですが、カイガラムシ対策に苦慮しています（高知県）。</p>
<p>使用方法</p>	<p>事例発表ありがとうございました。生産現場に対して普及させる上で、普及の制限要因として考えられることがあれば教えていただければと思います。</p>	<p>〔静岡県〕天敵温存植物の育苗、天敵の費用負担、いつも使っている農薬をタバコカスミカメに影響のない農薬に変更する心理的負担感、生産者の不安や疑問に寄り添える機関があるかどうか、などが挙げられます。</p> <p>〔福岡県〕タバコカスミカメの加害に対する不安（増えすぎたと農家が判断する目安や、適正な密度に管理する方法が確立されていないこと）、トマト黄化病の発生、などが挙げられます。</p> <p>〔高知県〕全ての方が温存ハウスをお持ちではないので、タバコカスミカメの数の確保が大変です。初期から十分量のタバコカスミカメを投入できないとウイルス病防除は難しいと考えています。</p>

使用方法	忌避剤の効果についてはあまり触れられていなかったと思うのですが、忌避剤の効果はどの程度あるのでしょうか？	促成栽培の場合ですと、トマトの育苗期から生育初期のコナジラミが増殖しやすい時期に毎週散布することで、コナジラミに対する高い密度抑制効果を得られます。
使用方法	残念ながら半促成栽培地区ですので、今後の進展に期待したいと思いますが、やはり、春からの増殖期には難しいのでしょうか？	<p>〔静岡県〕 3.4月定植7月終了の作型で何回か試験をしました。定植時または定植直後に放飼すると、防除効果が見込めるのは5月下旬くらいからです。その後は気温の上昇に伴いカスミカメは増殖し、コナジラミを防除してくれました。ただし、作の終盤のみ防除効果が得られるので、コナジラミを外に出さない対策には効果的ですが、殺虫剤の散布回数はあまり減少しません。そのため、コストを考えると厳しいかもしれません。</p> <p>〔福岡県〕 半促成ではありませんが、促成栽培の12月放飼（餌ひも利用）の試験を行い、3月下旬からトマト上でタバコカスミカメが非常に多く観察されました。ただし、施設の温度管理はやや高め、天敵温存植物を複数導入している条件で試験しています。</p>
IPM	バンカープランツ（クレオメ）にカイガラムシが多発しておりカイガラムシの農薬を使わずにクレオメを使用していきたいのですがアドバイスがありましたら、お願い致します。	上記のコナカイガラムシに関する質問と同じ回答になりますが、クレオメの周りからカイガラムシの発生源となるようなものを絶つしかないと考えます。
IPM	タバコカスミカメとともに使える防除剤として、ツヤコバチの可能性を教えてください。	トマトなどカブリダニ類が有効に働かない作物の場合には、タバコカスミカメが十分増加するまでの間、オンシツツヤコバチやサバクツヤコバチの放飼によりコナジラミ類の密度増加を抑制する方法も検討の価値があると思います。
その他	スワルスキーの放飼量が通常の使用量の倍となっていますが、産地では4本/10aが基本となっているのでしょうか？	産地での基本的な指針は定植時と主枝摘心時に放飼することになっており、それぞれの放飼量の目安は2本/10aです。追加放飼時については、どれくらいスワルスキーが定着しているかで本数が変わるので、放飼量の目安を「4本/10a」とはしていません。